

## 管内で8件が「かわまちづくり」支援制度に初認定

～まちづくりと一体となった「にぎわいのある水辺空間」の創出を支援～

国土交通省では、平成21年度に創設した「かわまちづくり」支援制度について、全国で67件の認定を行いました。

東北地方整備局管内では、以下の8件が認定されています。（別紙参照）

- 青森県： 弘前地区(弘前市)
- 岩手県： 盛岡地区(盛岡市)
- 宮城県： 鶴波地区(登米市)
- 秋田県： 秋田地区(秋田市)、大曲地区(大仙市)
- 山形県： 長井地区(長井市)、朝日地区(朝日町)
- 福島県： ふくしま荒川地区(福島市)

「かわまちづくり」支援制度は、地域の創意工夫等を尊重し、地域との連携を強化しつつ水辺空間とまち空間の融合を図り、良好な空間形成を目指すことを目的として、市町村等が作成した計画をハード・ソフト両面から支援するものであり、今回が初めての認定となります。

今後は、認定した計画に基づき、市町村や地域住民・市民団体等と河川管理者が連携しながら、にぎわいのある水辺空間を創出し、観光振興、地域活性化を図っていきます。

なお、本件については、国土交通本省においても記者発表しています。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

### 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 河川部

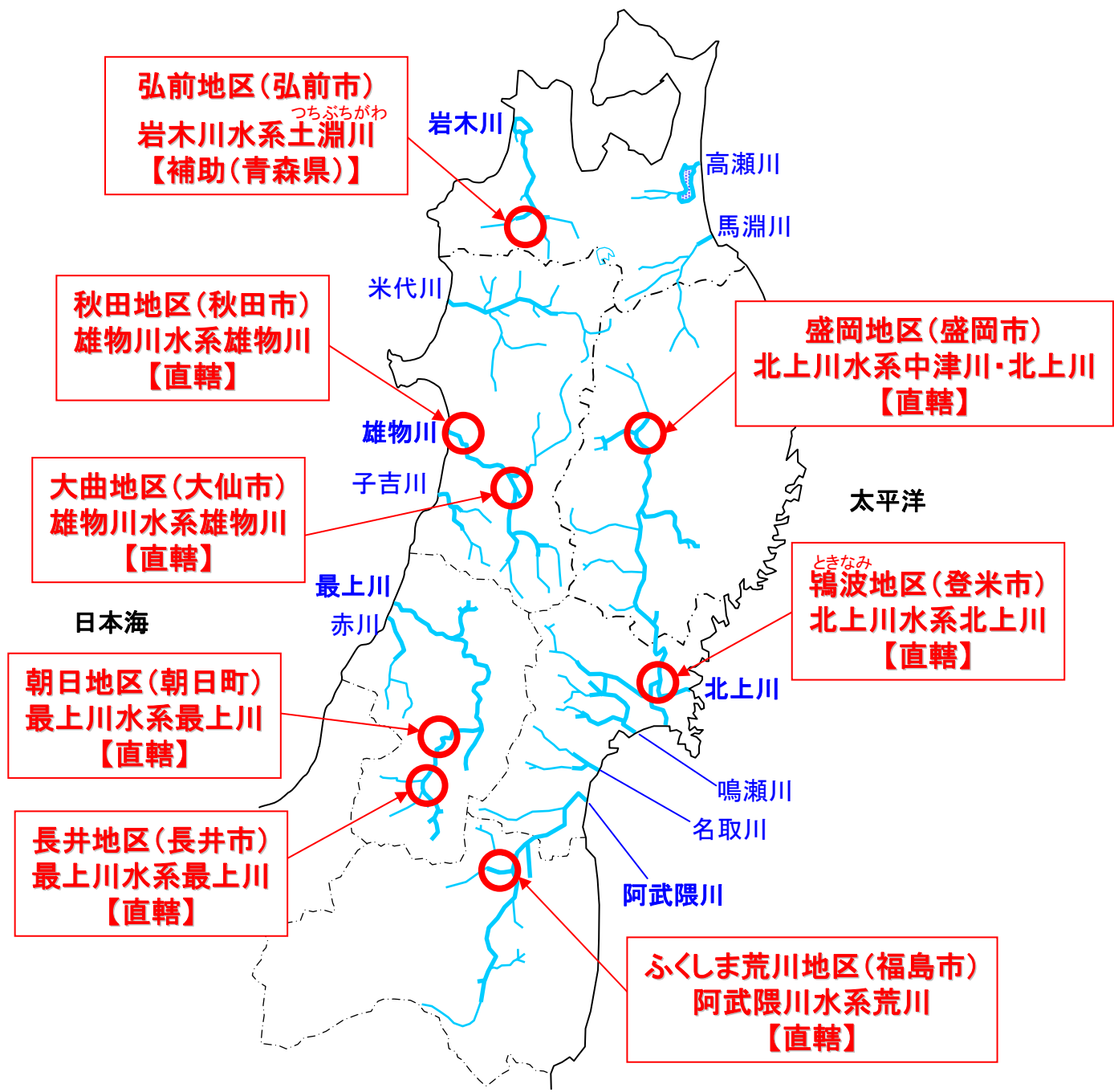
022-225-2171

河川環境課長 宮崎 伸一郎 (内線3651)

河川環境課長補佐 木村 伸一 (内線3652)

# 「かわまちづくり」支援制度 認定箇所【東北地方整備局管内】

## 第1回認定(平成21年5月22日付け)



# 弘前地区かわまちづくり

## ～歴史・文化と触れあえるかわまちづくり～

■市町村名：青森県弘前市

■対象河川：岩木川水系土淵川  
つちぶちがわ

■概要  
弘前市を流れる土淵川は、野田橋～徒橋区間で緩傾斜法面、散策路等が整備され、市民の憩いの場として親しまれているが、上流の中心市街地区間については急勾配のコンクリート護岸となっており、地域の方々からも改善が要望されています。

このため、親水性に配慮した水辺の整備を実施することにより、地元から愛され、そして商店街を訪れる買い物客や城下町を訪れる観光客などが歩いて楽しめる水辺空間を創出し、観光振興を支援します。

### ■整備内容

- ・親水護岸
- ・遊歩道
- ・広場工 等

朝陽橋下流(整備済み)

地元中学生による清掃活動

位置図

蓬菜橋～黄昏橋  
標準横断面

黄昏橋下流右岸

黄昏橋下流の現況

計画鳥瞰図(徒町緑地 緩傾斜護岸)



# 盛岡地区かわまちづくり

## ～かわとお城を中心に歩いて楽しむかわまちづくり～

■市町村名： 岩手県盛岡市

■対象河川： 北上川水系北上川・中津川

### ■概要

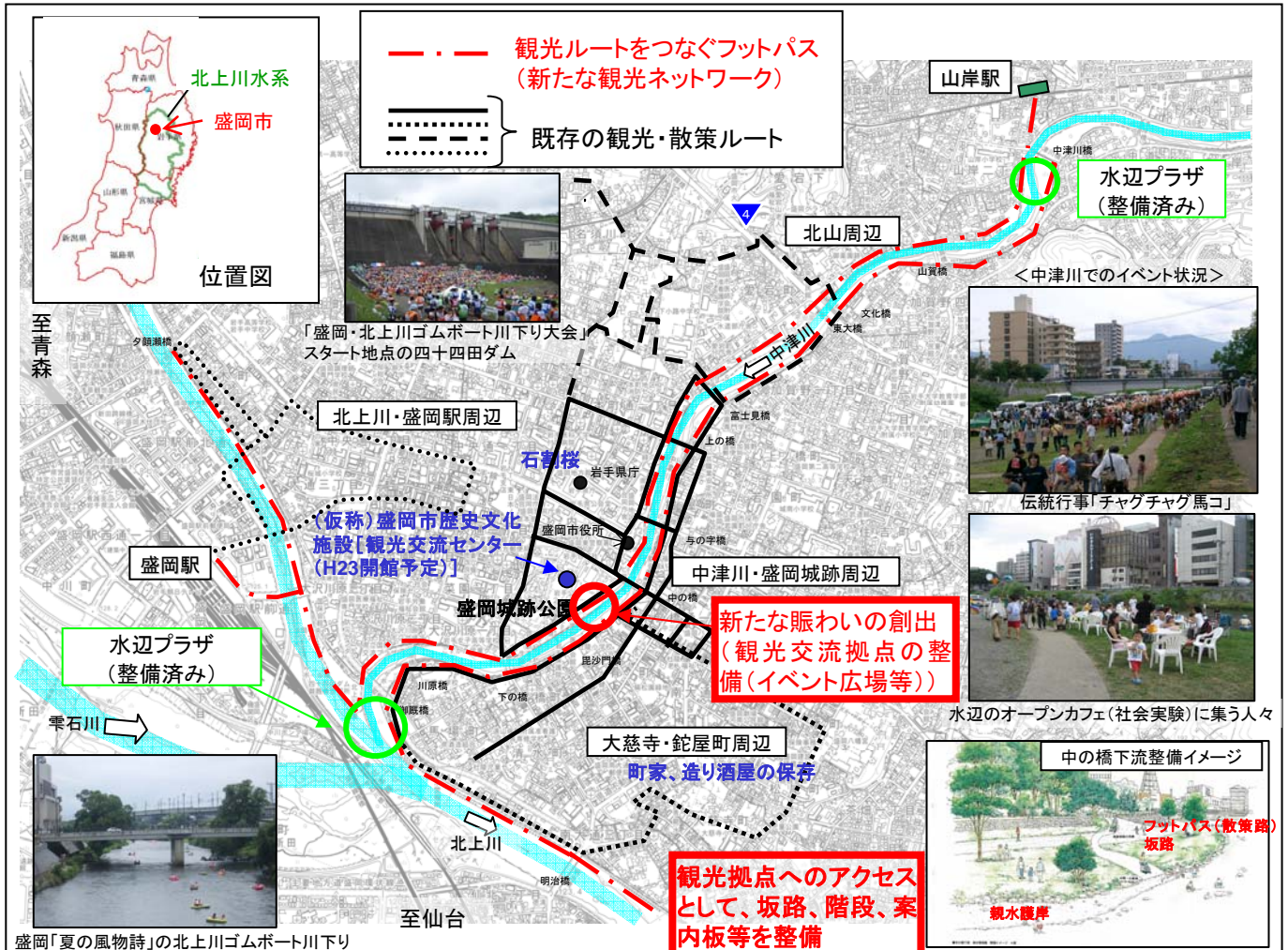
盛岡市では、中心市街地活性化基本計画、観光推進計画等に基づき、北上川や中津川及び隣接する盛岡城跡を中心としたまちづくりを進めています。

北上川は「盛岡・北上川ゴムボート川下り大会」が夏の風物詩となり、中津川では中の橋下流地区において伝統行事の「チャグチャグ馬コ」他、年間を通してイベントが開催されているなど、地域では河川を観光資源として活用する気運が高まっています。

このため、北上川・中津川が市内の観光拠点と隣接していることに着目し、盛岡駅からの観光ルートを一貫して整備するとともに、中の橋下流地区では観光交流の拠点（イベント広場等）を整備することにより、まちの魅力をより一層高め、市が進める「歩いて楽しむ観光」を支援します。

### ■整備内容

- ・フットパス（散策路）、坂路、階段
- ・拠点整備（広場の基盤整備、親水護岸等）
- ・案内板 等





# とぎなみ 鴉波地区かわまちづくり（北上川歴史公園整備）

## ～川の歴史を体験できるかわまちづくり～

■市町村名： 宮城県登米市

■対象河川： 北上川水系北上川・旧北上川

### ■概要

北上川と旧北上川が分流する地区は、登米市と石巻市をつなぐ拠点であるとともに、近年完成した三陸道のICや国道45号に近く、交通の要衝ともなっています。加えて、舟運や古くからの河川改修の歴史、土木遺産となっている分流施設(洗堰)等が存在していることから、河川の歴史を学ぶことのできる交流拠点の整備が望まれ、地域で基本計画をとりまとめています。

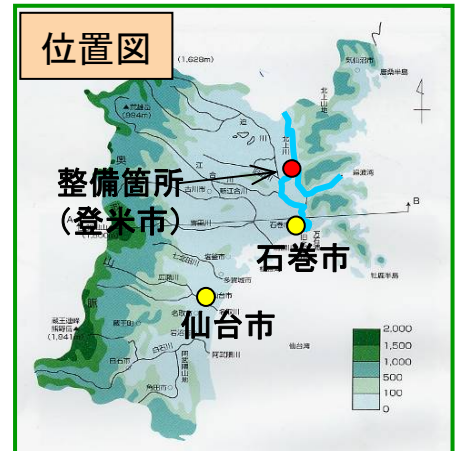
このため、登米市が実施する公園事業等と一体的となり、北上川の歴史を学び、体験できる水辺の整備を実施することにより、地域活性化を支援します。

### ■整備内容

- ・広場の基盤整備
- ・フットパス(散策路)
- ・船着場 等



北上川河川歴史公園(仮称) 基本設計平面図



IC、国道に近く交通の要衝



至 桃生津山IC

# 秋田地区かわまちづくり

## ～カヌーで市街地を巡るかわまちづくり～

- 市町村名： 秋田県秋田市
- 対象河川： 雄物川水系雄物川・旧雄物川・旭川

### ■概要

秋田市を流れる雄物川の河川敷は、水辺の広場や河川公園などのオープンスペースが整備され、多くの人々に利用されています。また、雄物川は延長が約120kmにも及ぶカヌーコースとなっており、船着場や案内板が整備され、県内外の人々に利用されています。

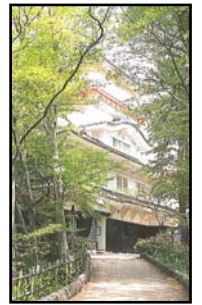
このため、雄物川で盛んなカヌーや良好な水辺を活用し、「かわ」と「まち」が連携した中心市街地活性化対策の一つとして、中心市街地へと繋がるカヌールート(ウォータートレイル)を整備し、あわせて水辺の交流拠点等を整備することにより、地域活性化を支援します。

### ■整備内容

- ・親水護岸、階段護岸(船着場)
- ・盛土等の基盤整備
- ・フットパス(散策路) 等



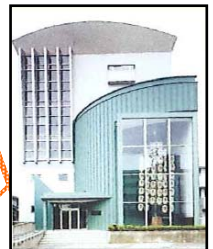
■旭川カヌー体験



久保田城址(千秋公園)



赤レンガ郷土館(国重要文化財)



秋田市民族芸能伝承館  
(秋田の祭りの紹介)



■雄物川でのカヌー利用





# 大曲地区かわまちづくり ～舟運の歴史と花火を活かしたかわまちづくり～

■市町村名：秋田県大仙市

■対象河川：雄物川水系雄物川・玉川・丸子川・横手川

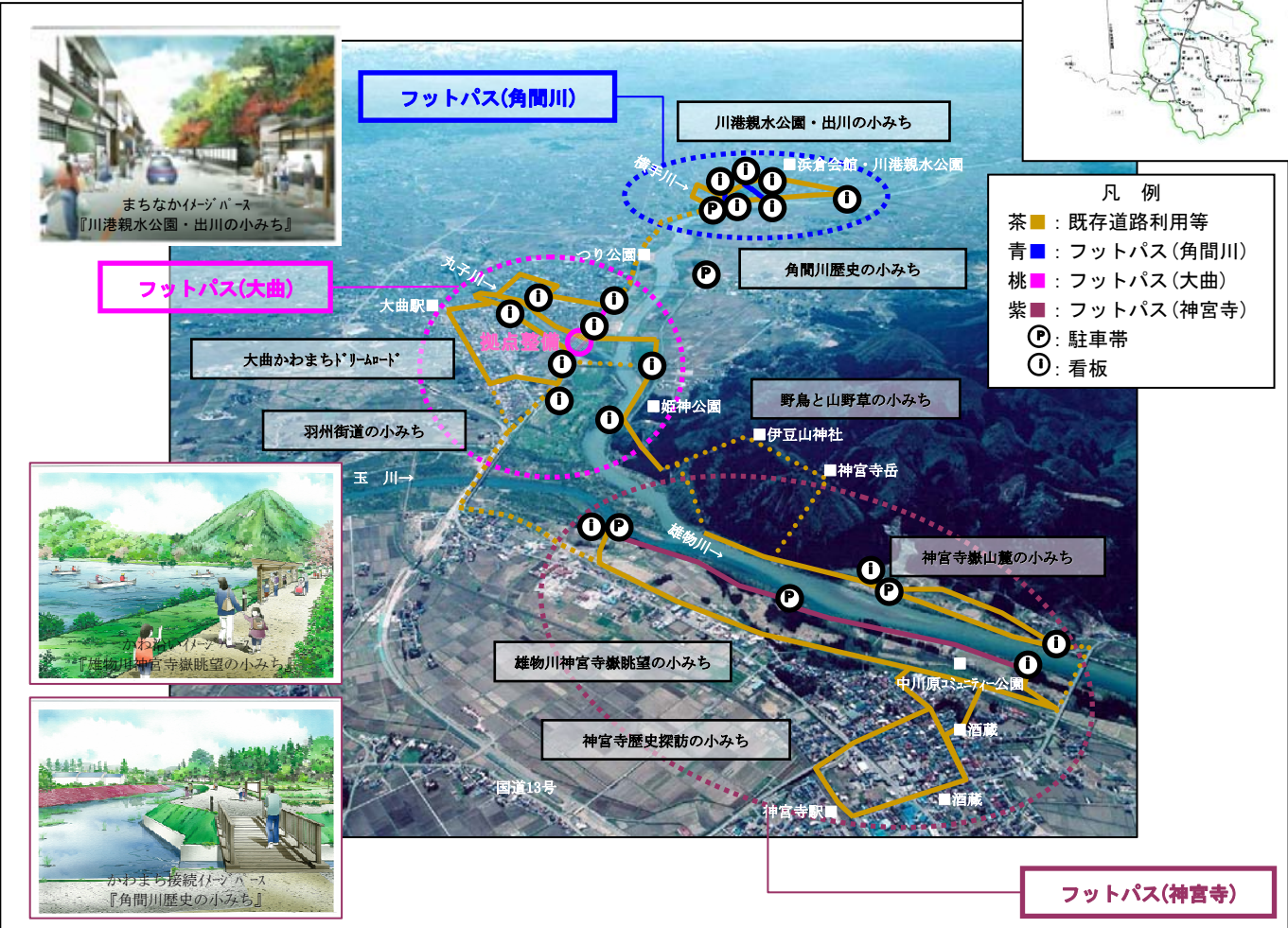
■概要  
大仙市では、市の都市計画マスタープラン（策定中）において、雄物川・玉川・丸子川などの「水辺を活かした水と緑のネットワークの形成」、「市民の憩いの場」、「河畔の良好な景観の保全・創出」等を位置付け、まちづくりを進めています。

当地区は、河川と市街地が近接しており、かつて川港として栄えた歴史があり、舟運時代の倉庫が保全され、古くからの神社等も点在しています。また、雄物川河畔を会場とした全国花火競技大会やカヌークルージング体験等が行われ、川との関わりも深くなっています。

このため、「かわ」と「まち」をフットパス（散策路）で結び、ネットワーク化を図るとともに、地域の特徴である舟運の歴史、花火等を活かした交流拠点を整備し、観光振興を支援します。

■整備内容

- ・フットパス（散策路）
- ・駐車帯
- ・案内板 等





# 長井地区かわまちづくり

## ～舟運の歴史と花・水・緑に親しむかわまちづくり～

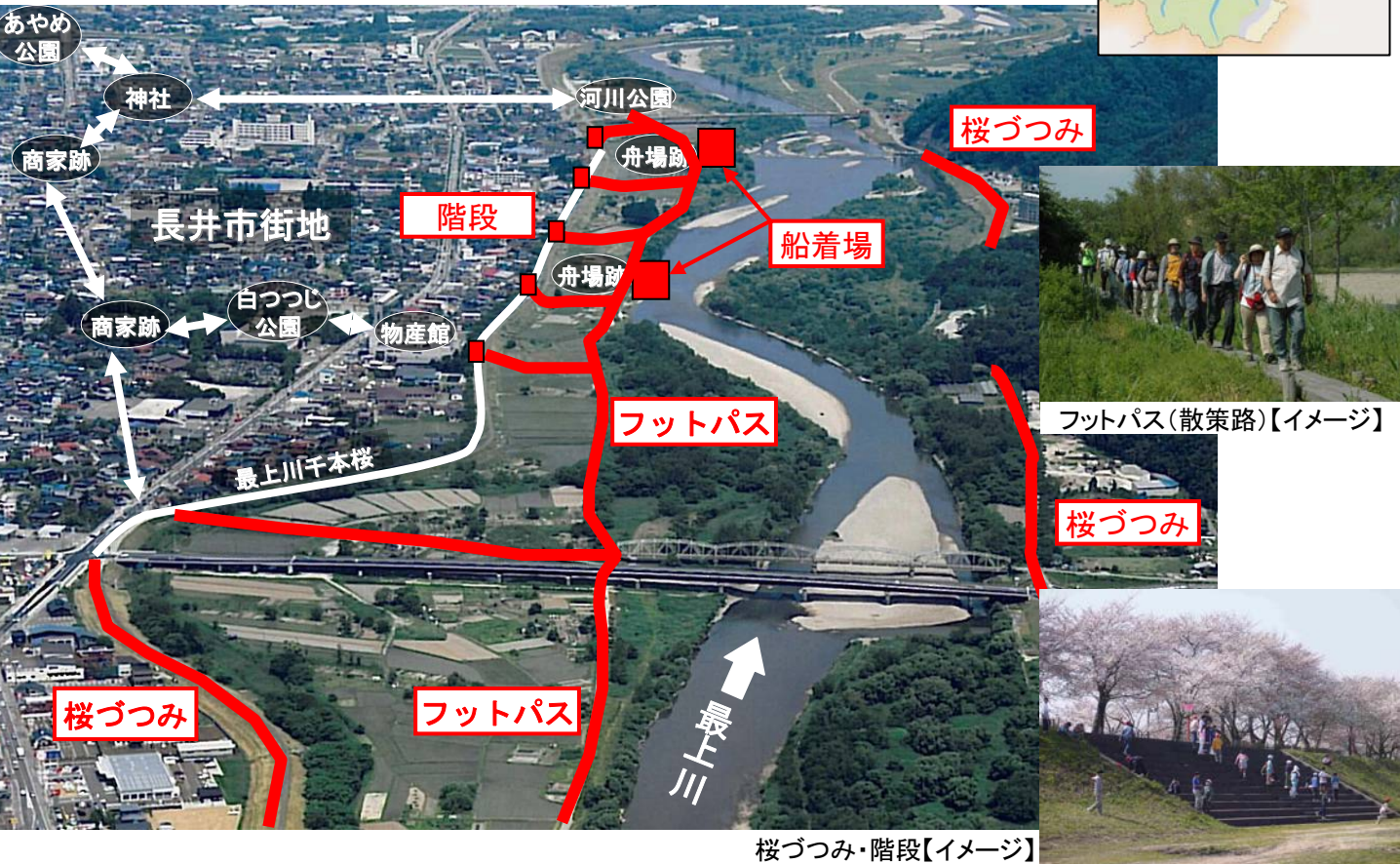
- 市町村名： 山形県長井市
- 対象河川： 最上川水系最上川

■概要  
長井市では、「水と緑と花」をコンセプトとしたまちづくりを実施するとともに、「かわ」と「まち」をつなぐフットパス(散策路)等を整備し、まち歩きやイベント等に利活用してきました。さらに、「まちづくり交付金」や「まちづくり基金」等を活用したコミュニティ歩道や案内板の整備、NPO等と連携した河川空間への花畑の創出など、積極的な整備や活動も実施しています。  
今後は、舟運時代の川港として栄えた歴史を活かしたまちづくりを計画しており、この計画と水辺が一体となった良好な空間を創出し、観光振興を支援します。

- 整備内容
- ・フットパス(散策路)、階段
- ・船着場(親水護岸)
- ・桜づつみ 等



舟運で栄えた商家跡などが残されている市街地



フットパス(散策路)【イメージ】

桜づつみ

桜づつみ・階段【イメージ】



# 朝日地区かわまちづくり(朝日地区フットパス)

～雄大で美しい自然を感じるかわまちづくり～

■市町村名： 山形県西村山郡朝日町

■対象河川： 最上川水系最上川

## ■概要

朝日町では、町の総合発展計画において最上川を観光の重要な資源として位置付け、町の開発と合わせて水辺の整備を進めています。朝日町を流れる最上川は、雄大で美しい景観、変化に富んだ流れから絶好のカヌースポットとなっており、競技大会等も開催されています。このため、過去には水辺プラザとして、カヌーを中心とした町の交流拠点を整備し、県内外の方々に利用されています。

今後は、点在する豊富な観光資源や史跡等を最上川を介してつなぐフットパス(散策路)等を整備し、観光交流ネットワークの形成を図ることにより、観光振興を支援します。

## ■整備内容

- ・フットパス(散策路)
- ・案内板 等



明鏡橋  
(土木学会選奨土木遺産)



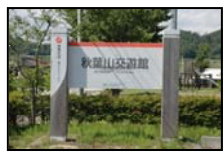
最上川観光交流ネットワークの形成  
(フットパスの整備)



能中一本松公園整備状況



日本の棚田百選「権平(くぬぎだいら)」



エコミュージアムデザイン事業  
で設置している案内板



佐竹家住宅  
(国指定重要文化)



カヌー船着場  
最上川ビューポイント

フットパスルート  
整備延長L=3.2km

カヌー競技コース  
カヌー船発場



常盤地区水辺プラザ  
(整備済み)



エコミュージアム活動「おらほの最上川学」での案内人による現地案内



エコミュージアムの活動拠点  
エコミュージアムコアセンター「創造館」

NPOエコミュージアム協会による15人の案内により、創造館を拠点として年間約1500人の利用者



豊龍の丘広場整備状況

# ふくしま荒川地区かわまちづくり ～川の回遊性を活かすかわまちづくり～

- 市町村名： 福島県福島市
- 対象河川： 阿武隈川水系荒川

■概要  
 福島市では、市の都市マスタープラン等に基づき、阿武隈川や荒川において、水や緑のネットワーク化など親水空間の整備が進められています。これらの施設を利用したウォーキングイベントなどが多数開催されるとともに、キャンプ・芋煮会などでも広く利用されています。  
 また、福島市では周辺自治体と連携した「観光圏整備計画」を新たに策定しており、荒川の自然や文化を守る活動と観光圏事業を有機的に結び付け、地域活性化を進めることにしています。  
 このため、市街地と既存の交流拠点(土湯温泉、水辺等)や歴史的な土木構造物等をつなぐ堤防上の通路や散策路等を整備することで、川とまちのネットワークの形成、回遊性の向上を図るなど、魅力的な水辺空間の創出を図り、観光振興を支援します。

- 整備内容
  - ・堤防天端舗装、坂路
  - ・案内板
  - ・渡河施設 等





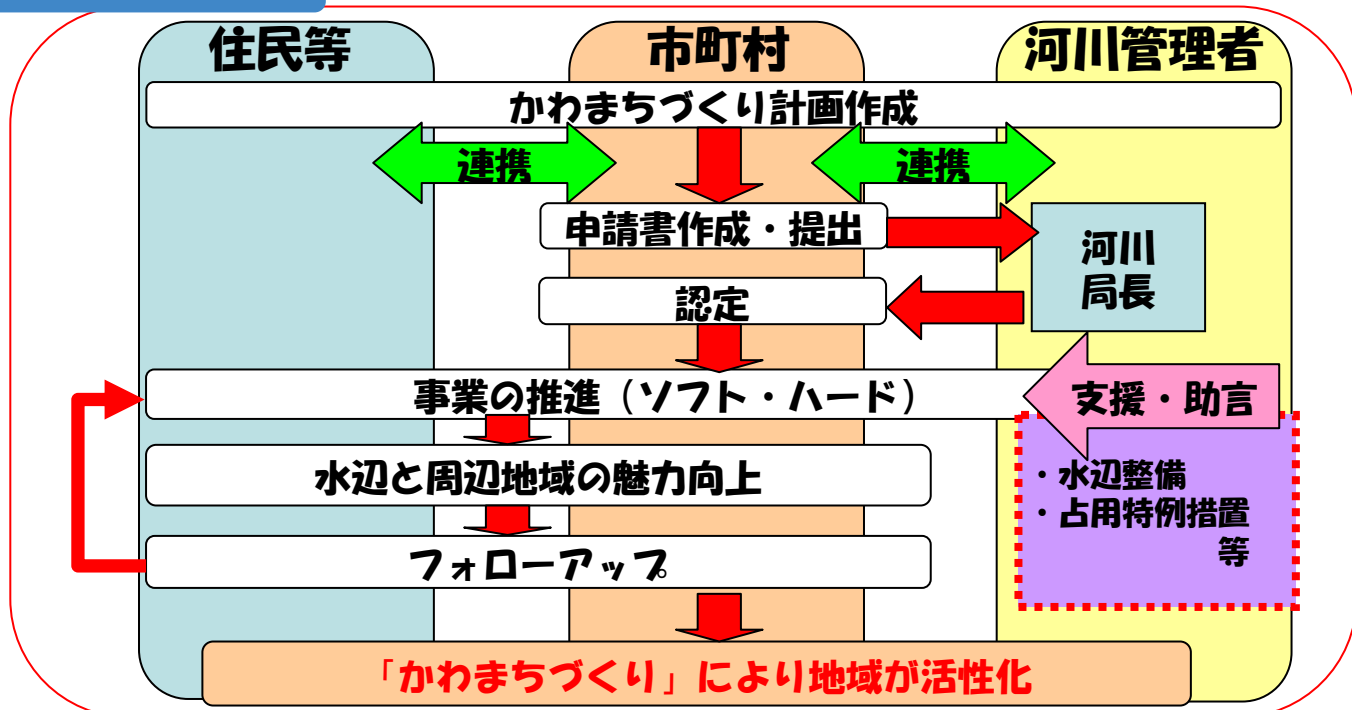
# にぎわいのある河畔空間の創出

～「かわまちづくり」支援制度の創設～

参考

河川が有している景観・歴史・文化等の活性化に繋がる「資源」や地域の「知恵」を活かし、市町村や住民等との連携によって立案された水辺の整備・利活用計画に基づき、**まちと水辺が融合した良好な空間形成を推進**します。

## 支援制度の流れ



※かわまちづくり計画は、水辺とまちづくりに関する基本的な方針、周辺市街地等と一体的な利活用・整備等の計画を定めたものです。認定に際しては、以下の点に着目して行います。

- ① 地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ② 利活用方策が地域において明確となっているもの
- ③ 施設の維持管理に地域の協力が得られるもの

○ソフト面は、民間事業者が行う河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用(河川敷地占用許可準則の特例措置)を拡充する等により、地域づくりを積極的に支援します。

○ハード面は、まちづくりと一体となった水辺整備を積極的に支援します。

イベント・オープンカフェ利用(道頓堀川)



河川を核とした地域活性化(最上川)



# 「かわまちづくり」(ソフト面の支援)

～支援例 河川敷地占用許可準則の特例措置～

## 課題と背景

- 現在、まちづくりと一体となったにぎわいのある水辺空間整備について、積極的な取組を実施しているが、十分な状況ではない。
- このため、地域活性化等の観点から**イベント施設やオープンカフェの設置**等、水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくりに寄与し、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とするため、平成16年より河川占用許可準則の特例措置として、**社会実験を実施**。
- 今後、**民間事業者による河川敷地での営利活動**を推進するため一層の規制緩和が必要。

## 施策の内容

### 水の都大阪再生構想 (大阪市)



### 水の都ひろしま構想 (広島市)



## 河川空間利用のイメージ

広場、イベント施設に一体となす施設として設置された飲食店、売店、オープンカフェ、照明・音響施設等については、使用契約等を締結した民間事業による利用が可能

河川管理者・地方公共団体等で構成する河川敷地の利用調整に関する協議会等において適切であると認められた営業活動を行う事業者等も占用の許可を受けることができるものとする。

占用主体は公的機関



○現在、道頓堀川(大阪市)、京橋川等(広島市)、堀川(名古屋市)の3箇所では社会実験を実施中である。

○H20年3月に利根川(香取市)、H20年8月に堂島川等(大阪市)、H20年11月に那珂川等(福岡市)を指定。

○現在、社会実験として行っている民間事業者による河川敷地のイベント広場やオープンカフェ等の利用を積極的に検討する。



# 「かわまちづくり」(ハード面の支援)

～水辺整備の支援の枠組み～

## 課題と背景

○これまでの枠組みを超えた、地域の自由な発想から生み出される河川(水辺)を核としたまちづくり(「かわまちづくり」)により、生き活きとした水辺空間を創出することが必要。

## 施策の内容

### ◇親水空間と一体となった都市空間の創出

- ・周辺地域のまちづくりと一体となってにぎわいのある河川空間を創出。
- ・整備にあたっては、地域の多様なニーズに応えるため、まちづくりの主体である市町村の都市再生整備計画や地域再生計画などのまちづくりと連携した自由な提案・発意を汲みながら、支援を実施。

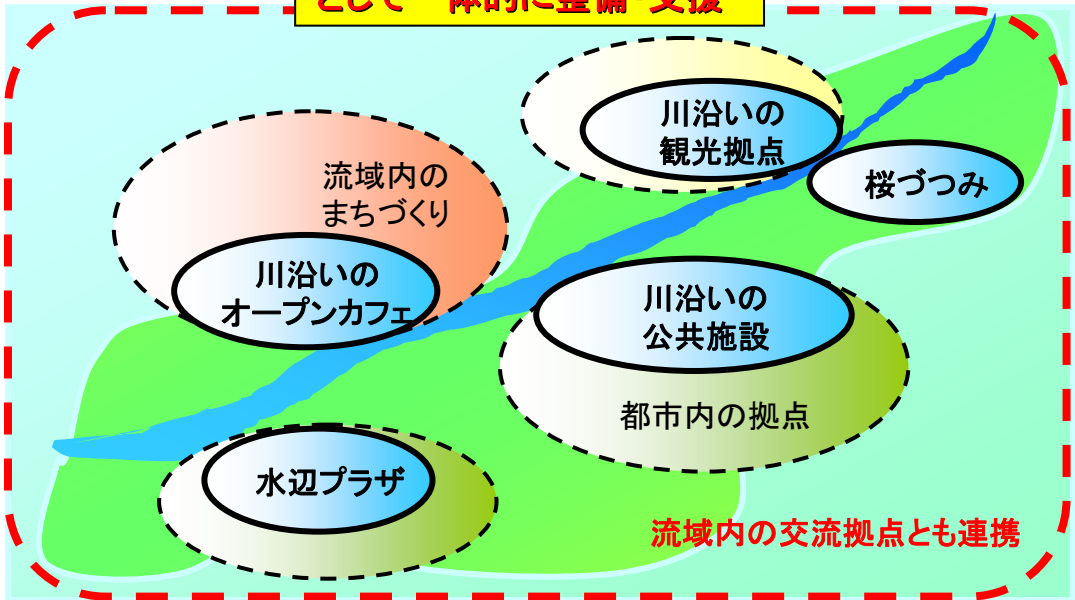
オープンカフェ



観光拠点



「かわまちづくり」支援制度として一体的に整備・支援



水辺と一体となった都市空間



川&水辺の拠点でつなぐ流域づくりイメージ

桜つつみ

